

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公表番号】特表2016-510983(P2016-510983A)

【公表日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-023

【出願番号】特願2015-562115(P2015-562115)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 07 K 14/135 (2006.01)

A 61 K 39/155 (2006.01)

A 61 K 39/39 (2006.01)

A 61 P 31/14 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 07 K 14/135

A 61 K 39/155

A 61 K 39/39

A 61 P 31/14

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月17日(2017.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

融合前の呼吸器合胞体ウイルスFタンパク質の少なくとも1つの抗原エピトープを提示する熱安定な組換えポリペプチドであって、

前記ポリペプチドは、呼吸器合胞体ウイルスFタンパク質エクトドメインを含み、前記呼吸器合胞体ウイルスFタンパク質エクトドメイン内の2つの多塩基性フューリン切断部位が、前記部位内の全アルギニン残基をリシン残基により置換することによって変異導入され、これにより前記フューリン切断部位が不完全になっている

熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項2】

前記組換えポリペプチドのエクトドメインに異種の三量体形成ドメインが続き、オリゴマーを形成する、請求項1に記載の熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項3】

異種の前記三量体形成ドメインが、GCN4ロイシンジッパー三量体形成モチーフである、請求項2に記載の熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項4】

前記ポリペプチドが、呼吸器合胞体ウイルスFタンパク質の膜貫通ドメインおよび細胞質ドメインを含まない、請求項1-3のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項5】

H R B領域が、エクトドメインから機能的に欠失している、請求項1-4のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項6】

H R B 領域の前記機能的欠失が配列番号 1 0 の欠失を含む、請求項5に記載の熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項 7】

前記三量体形成ドメインのカルボキシ末端に連結した L y s M ペプチドグリカン結合ドメインをさらに含む、請求項3 - 6のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項 8】

3 × S t r e p タグをさらに含む、請求項1 - 6のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項 9】

前記抗原エピトープが、融合前特異的モノクローナル抗体 A M 2 2 もしくは D 2 5 、または A M 2 2 および D 2 5 によって認識される、請求項1 - 8のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチド。

【請求項 10】

請求項1 - 9のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチドを含む免疫原性組成物。

【請求項 11】

アジュvantをさらに含む、請求項1 0に記載の免疫原性組成物。

【請求項 12】

前記熱安定な組換えポリペプチドが、共有結合的または非共有結合的に担体粒子に結合している、請求項1 0または1 1に記載の免疫原性組成物。

【請求項 13】

前記担体粒子が細菌様粒子である、請求項1 2に記載の免疫原性組成物。

【請求項 14】

請求項1 - 9のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチドをコードするスクレオチド配列を含む組換え発現ベクター。

【請求項 15】

対象において免疫応答を R S V に対し誘導するための、請求項1 - 9のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチドまたは請求項1 0 - 1 3のいずれかに記載の免疫原性組成物。

【請求項 16】

医薬としての使用のための、請求項1 - 9のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチドまたは請求項1 0 - 1 3のいずれかに記載の免疫原性組成物。

【請求項 17】

R S V 感染に対するワクチンにおける使用のための、請求項1 - 9のいずれかに記載の熱安定な組換えポリペプチドまたは請求項1 0 - 1 3のいずれかに記載の免疫原性組成物。

。